

柏の景気情報（平成19年8月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成19年8月分）

○ 調査期間 : 平成19年8月21日 ~ 8月24日

○ 調査対象 : 柏市内99事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	99	72	72.7%
建設	17	14	82.4%
製造	23	18	78.3%
卸・小売	39	27	69.2%
サービス	20	13	65.0%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景況の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成19年8月の調査結果のポイント】

◀ 業況DIは4ヶ月連続でマイナス幅が拡大、仕入単価・採算は最悪水準 ▶

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲31.9(前月水準▲27.1)となり、マイナス幅が▲4.8ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲35.7(同▲38.4)である。変らない業種は、製造業▲5.5(同▲5.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲44.4(同▲34.6)、サービス業▲38.4(同▲30.7)である。

【建設業】では、「夏休み中につき、学校の工事が集中」(板金工事)との声が寄せられているが、「相変わらず厳しい状況が続いている」(土木建築工事)との声や、「民間・官公庁共に発注物件が出るものの、予算と積算とつり合う金額ではないため、受注は難しい」(土木建築工事)、「引き合い物件出るも、予算と積算とが調整つかない程合わない」(土木建築工事)といった不採算物件の声の他、「燃料費(ガソリン・軽油)・鉄関係・紙類などの価格の上昇により、工事原価が上がり、利益を圧迫してきている」(土木工事)といったコスト上昇に関する声が寄せられている。

【製造業】では、「製品においては若干の変動はあるが、良好である」(鉄粉製造)との明るい声があるものの、「9月材料値上げの具体的交渉に入ってきた」(紙製容器製造)、「原材料費及び燃料費の高騰が続き、製品価格への転嫁が急務」(工業用ゴム製品製造)、「材料価格高騰を受けて複数の加工協力会社より単価アップの要求を受けている。企業努力による材料費高騰分の吸収をお願いしているが、材質種類により吸収できる範囲を超えており、単価の調整を実施せざるを得ない状況」(包装・組立機械製造)といった材料・燃料の高騰の声が多く寄せられている。また、「自社の業況好転により人手不足が顕著になってきた。募集するが応募が少なく、応募があっても、当方の要求レベルの人が採れない状況」(包装・組立機械製造)との声や、「半導体関係の設備投資減少傾向」(電子部品・デバイス製造)といった声も寄せられている。

【卸小売業】では、「東急ハンズオープンにより、ステーションモールの入店客数は2ケタ増となっており、柏駅周辺の界隈性が増しているものと思う」(百貨店)、「東急ハンズがオープンし、売上・客数ともに前年を大きく上回る出足となった。以降、数店舗と大型雑貨店がリニューアル休業に入ったものの、売上高は前年を上回る推移となった。特に飲食店舗はハンズ導入で集客が高まったことから、殆どの店舗が2桁伸張となった」(各種商品小売)といった東急ハンズ開店に伴う好調の声の他、「昨年末に開始した本のポイントサービスの効果や『柏ウォーカー』の発売などもあって、前年並みを維持」(書籍小売)、「ガス器具販売が多少増加した分、資金繰りは先月より良い」(燃料小売)といった声も寄せられている。しかし、「猛暑で客足が鈍い。秋に期待」(菓子小売)、「酷暑でガス消費量大幅ダウン」(燃料小売)といった猛暑による悪影響の声が多く寄せられた。その他、「従業員は不足の状態が続いている」(コンビニエンスストア、学生衣料)、「7月守谷に新SC『ロックシティ』がオープン。これにより、TX寄り方面にあるSCに影響があると考えられる」(百貨店)との声や、「地元企業として、価格競争に巻き込まれない独自の仕入先の開発、楽しい売場、地域一番の接客の提供が課題」(食料小売)、「イトーヨーカ堂柏店は改装の予定」(総合スーパー)といったコメントが寄せられている。

【サービス業】では「業界では低料金店との比較化を考え、クールビズカットや涼しい冷え冷えシャンプーなどで話題を集めて努力してきました。その効果は多少あったように思う」(理容業)との声や、「宴会・宿泊ともに売上不変」(ホテル)といった声が寄せられている。

○仕入・コスト上昇

「燃料費(ガソリン・軽油)・鉄関係・紙類などの価格の上昇により、工事原価が上がり、利益を圧迫してきている」(土木工事)、「9月材料値上げの具体的交渉に入ってきた」(紙製容器製造)との材料・燃料の高騰の声や、「原材料費及び燃料費の高騰が続き、製品価格への転嫁が急務」(工業用ゴム製品製造)、「材料の価格高騰を受けて複数の加工協力会社により単価アップの要求を受けている。加工協力会社には企業努力による材料費高騰分の吸収をお願いしているが、材質種類により吸収できる範囲を超えており、単価の調整を実施せざるを得ない状況である」(包装・組立機械製造)といった価格転嫁の声が寄せられている。また、「今後数ヶ月は現状価格か円高の影響で多少下がるのが予想されるが、その後は中国・インド等の需要拡大でさらに値上げの可能性大」(燃料小売)との声も寄せられている。

○猛暑の影響

「暑すぎて買い物に出かけません」(食料卸売)、「猛暑で客足が鈍い。秋に期待」(菓子小売)、「猛暑により、顧客の来街頻度が減少したためか、来店客数減。電気製品の一部は売れているようであるが、秋物衣料品、アクセサリー等の売行きは良くない」(各種商品小売)、「今月酷暑でガス消費量大幅ダウン」(燃料小売)との猛暑による悪影響の声や、「記録の高温続きで、野菜の品質低下や入荷減が予想されるが、現状は前年並みの動き。果実も同様の環境の中、小玉傾向で品質は良いものの、入荷減、単価高が続いている。今後の高温干ばつは不安材料である」(青果卸売)といった今後を懸念する声が寄せられている。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
3月	▲22.8	▲38.4	▲5.8	▲37.9	△9.0
4月	▲15.7	▲6.2	▲5.8	▲33.3	±0.0
5月	▲19.4	▲26.6	±0.0	▲32.1	▲9.0
6月	▲21.7	▲21.4	▲5.5	▲32.0	▲25.0
7月	▲27.1	▲38.4	▲5.5	▲34.6	▲30.7
8月	▲31.9	▲35.7	▲5.5	▲44.4	▲38.4
見通し	▲18.0	▲35.7	▲5.5	▲22.2	▲7.6

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 18.0	△ 1.3	▲ 31.9	▲ 4.1	▲ 45.8	▲ 37.5	△ 9.7	△ 12.5
建設	▲ 28.5	▲ 21.4	▲ 42.8	▲ 14.2	▲ 64.2	▲ 50.0	△ 7.1	△ 7.1
製造	▲ 22.2	△ 16.6	▲ 33.3	±0.0	▲ 66.6	▲ 38.8	△ 11.1	△ 11.1
卸・小売	▲ 7.4	△ 11.1	▲ 29.6	▲ 3.7	▲ 22.2	▲ 29.6	△ 3.7	△ 11.1
サービス	▲ 23.0	▲ 23.0	▲ 30.7	▲ 7.6	▲ 46.1	▲ 38.4	△ 15.3	△ 15.3

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 31.9	▲ 18.0	▲ 6.9	▲ 9.7
建設	▲ 35.7	▲ 35.7	▲ 7.1	▲ 7.1
製造	▲ 5.5	▲ 5.5	±0.0	▲ 5.5
卸・小売	▲ 44.4	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 14.8
サービス	▲ 38.4	▲ 7.6	▲ 7.6	▲ 7.6

【平成19年8月の業況についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲31.9(前月水準▲27.1)となり、マイナス幅が▲4.8ポイント拡大した。

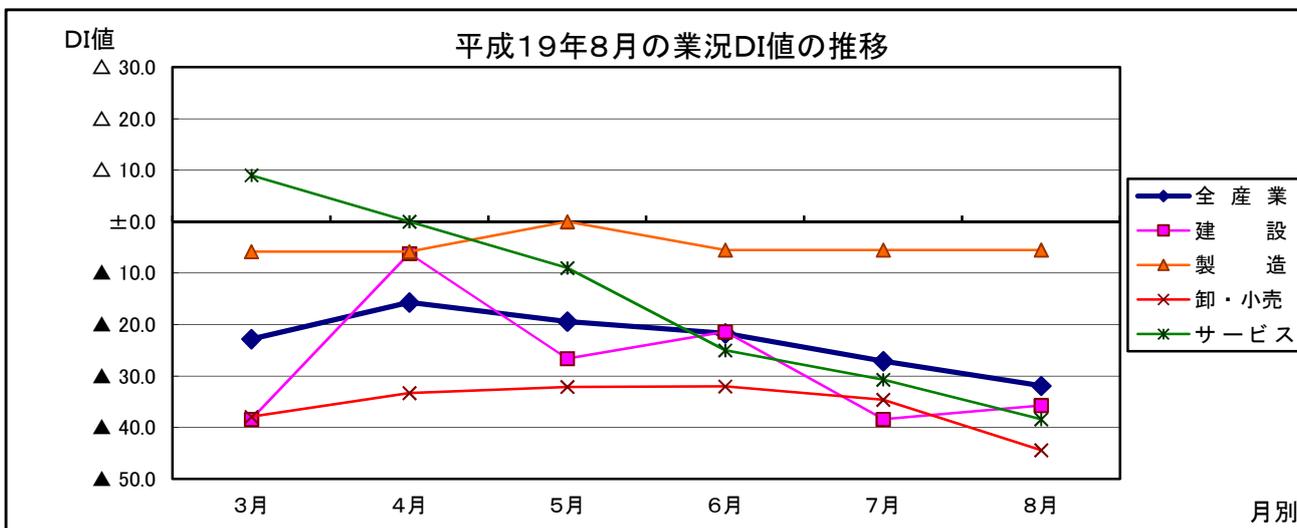
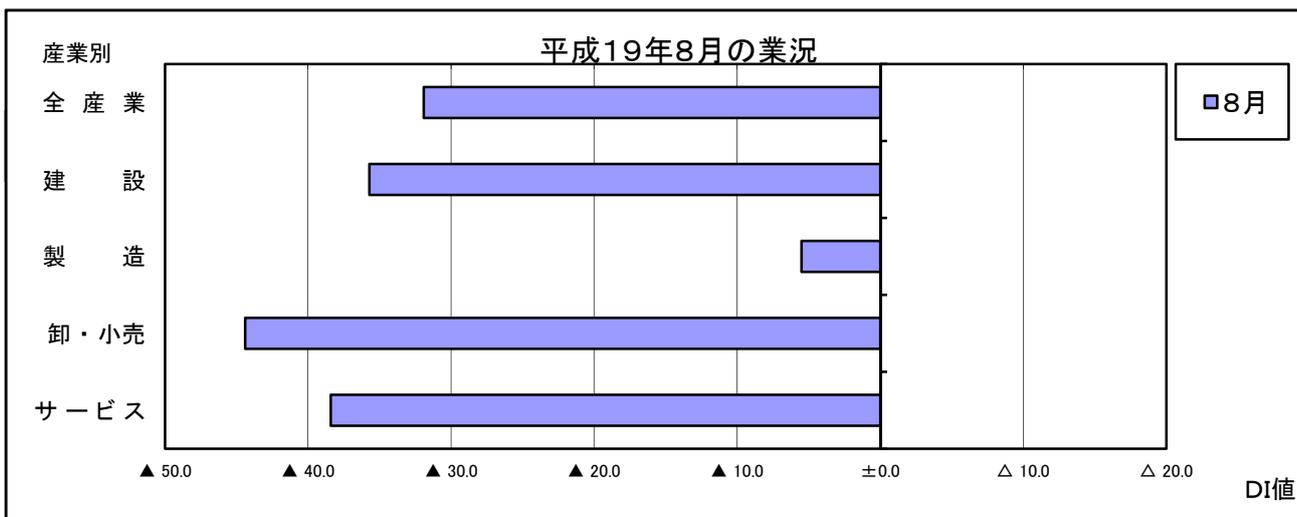
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲35.7(同▲38.4)である。変らない業種は、製造業▲5.5(同▲5.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲44.4(同▲34.6)、サービス業▲38.4(同▲30.7)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲18.0(前月水準▲21.4)となり、マイナス幅が△3.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲7.6(同▲23.0)、卸小売業▲22.2(同▲30.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、製造業▲5.5(同±0.0)、建設業▲35.7(同▲30.7)である。

平成19年8月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲22.8	▲15.7	▲19.4	▲21.7	▲27.1	▲31.9	▲18.0(▲21.4)
建設	▲38.4	▲6.2	▲26.6	▲21.4	▲38.4	▲35.7	▲35.7(▲30.7)
製造	▲5.8	▲5.8	±0.0	▲5.5	▲5.5	▲5.5	▲5.5(±0.0)
卸・小売	▲37.9	▲33.3	▲32.1	▲32.0	▲34.6	▲44.4	▲22.2(▲30.7)
サービス	△9.0	±0.0	▲9.0	▲25.0	▲30.7	▲38.4	▲7.6(▲23.0)



【平成19年8月の売上についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.0(前月水準▲21.4)となり、マイナス幅が△3.4ポイント縮小した。

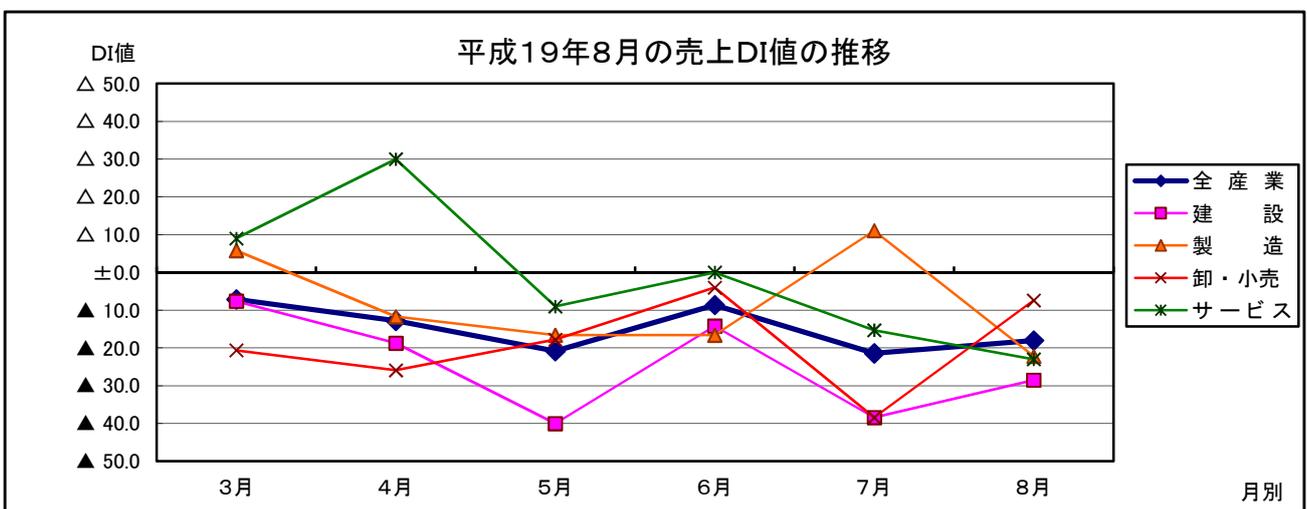
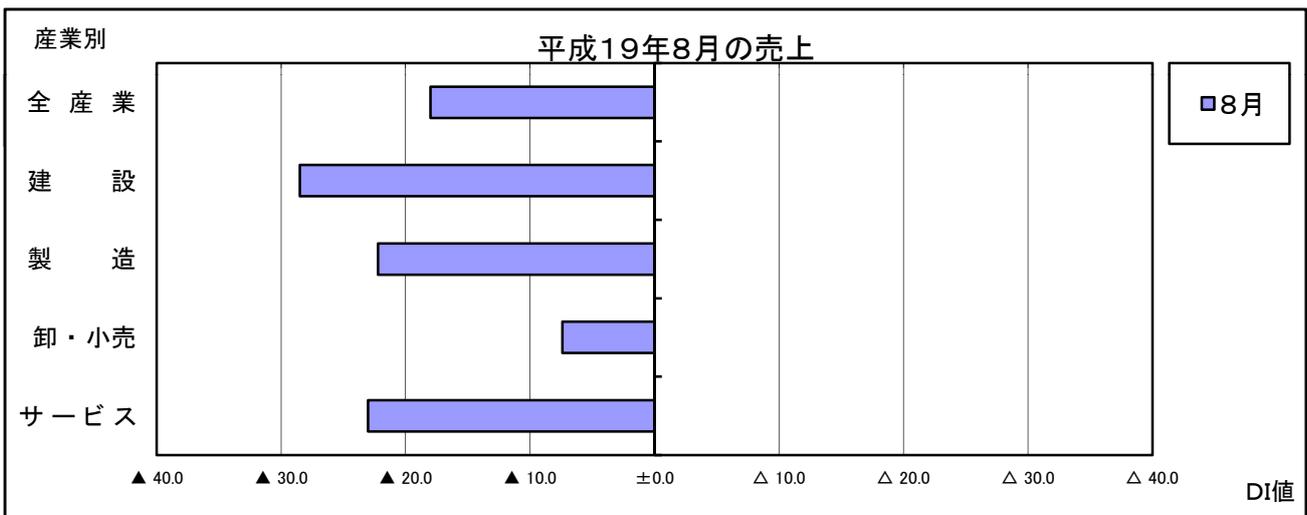
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲7.4(同▲38.4)、建設業▲28.5(同▲38.4)であり、特に、卸小売業はマイナス幅が△31.0ポイントと大幅に縮小した。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲22.2(同△11.1)であり、▲33.3ポイントと大幅に悪化した。マイナス幅が拡大した業種は、サービス業▲23.0(同▲15.3)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△1.3(前月水準▲5.7)となり、プラス幅が△7.0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、卸小売業△11.1(同▲11.5)であり、△22.6ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲21.4(同▲38.4)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△16.6(同△22.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲23.0(同±0.0)であり、マイナス幅が

平成19年8月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲7.1	▲12.8	▲20.8	▲8.6	▲21.4	▲18.0	△1.3(▲5.7)
建設	▲7.6	▲18.7	▲40.0	▲14.2	▲38.4	▲28.5	▲21.4(▲38.4)
製造	△5.8	▲11.7	▲16.6	▲16.6	△11.1	▲22.2	△16.6(△22.2)
卸・小売	▲20.6	▲25.9	▲17.8	▲4.0	▲38.4	▲7.4	△11.1(▲11.5)
サービス	△9.0	△30.0	▲9.0	±0.0	▲15.3	▲23.0	▲23.0(±0.0)



【平成19年8月の採算についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲31.9(前月水準▲21.4)となり、マイナス幅が▲10.5ポイント拡大した。

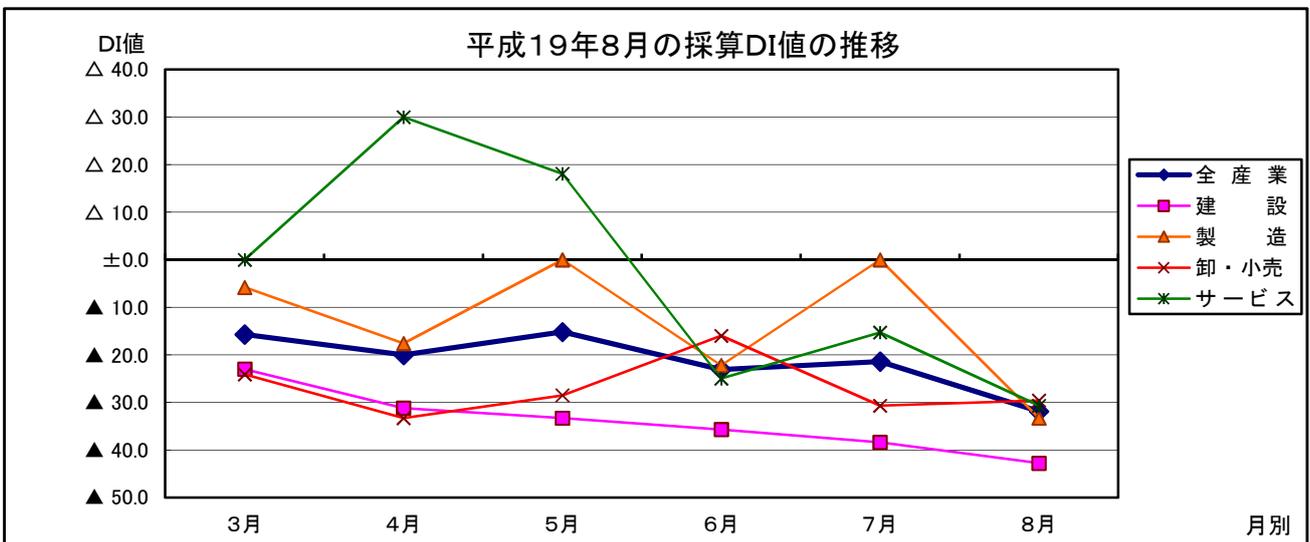
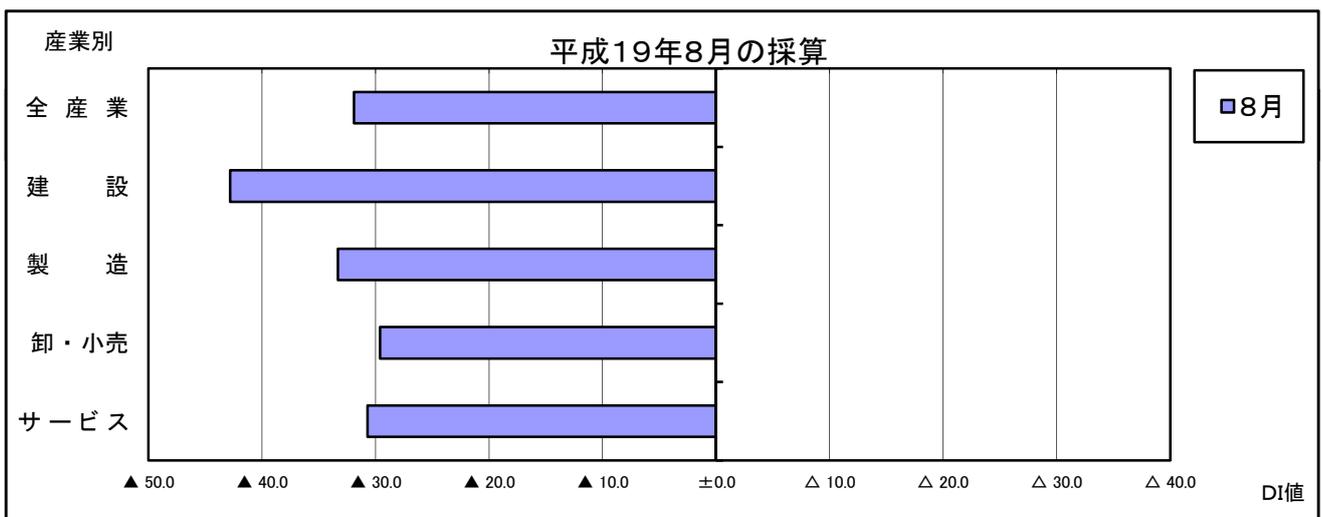
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲29.6(同▲30.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲33.3(同±0.0)、サービス業▲30.7(同▲15.3)、建設業▲42.8(同▲38.4)であり、特に、製造業はマイナス幅が▲33.3ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.1(前月水準▲14.2)となり、マイナス幅が△10.1ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲14.2(同▲38.4)、製造業±0.0(同▲11.1)、サービス業▲7.6(同▲15.3)、卸小売業▲3.7(同▲3.8)であり、特に、建設業はマイナス幅が△24.2ポイントと大幅に縮小する見通しである。

平成19年8月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲ 15.7	▲ 20.0	▲ 15.2	▲ 23.1	▲ 21.4	▲ 31.9	▲ 4.1 (▲ 14.2)
建設	▲ 23.0	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 38.4	▲ 42.8	▲ 14.2 (▲ 38.4)
製造	▲ 5.8	▲ 17.6	±0.0	▲ 22.2	±0.0	▲ 33.3	±0.0 (▲ 11.1)
卸・小売	▲ 24.1	▲ 33.3	▲ 28.5	▲ 16.0	▲ 30.7	▲ 29.6	▲ 3.7 (▲ 3.8)
サービス	±0.0	△ 30.0	△ 18.1	▲ 25.0	▲ 15.3	▲ 30.7	▲ 7.6 (▲ 15.3)



【平成19年8月の仕入単価についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲45.8(前月水準▲40.0)となり、マイナス幅が▲5.8ポイント拡大した。

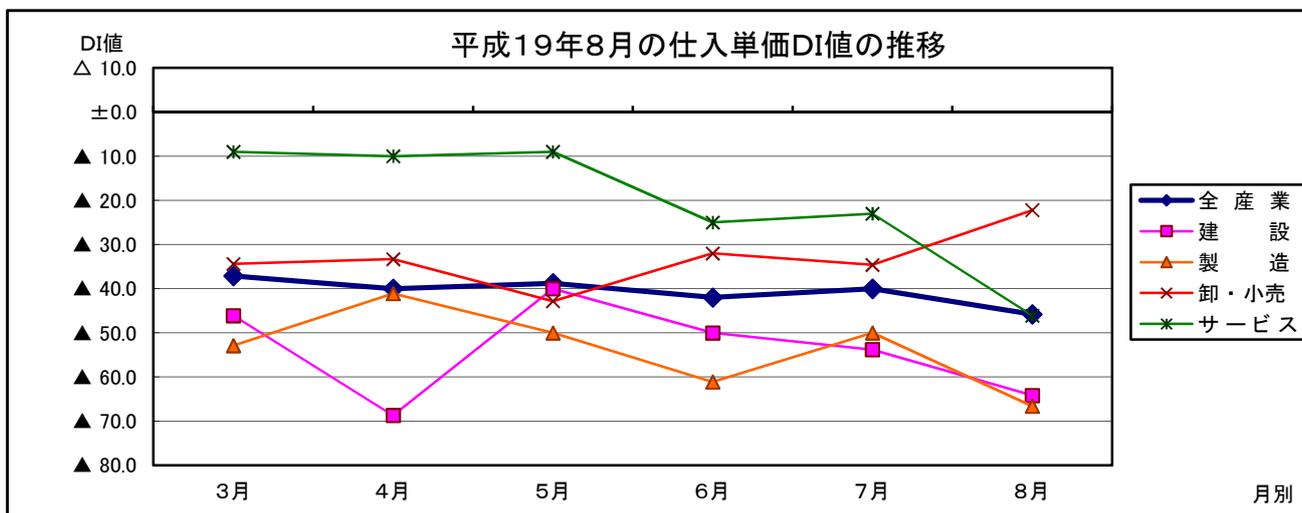
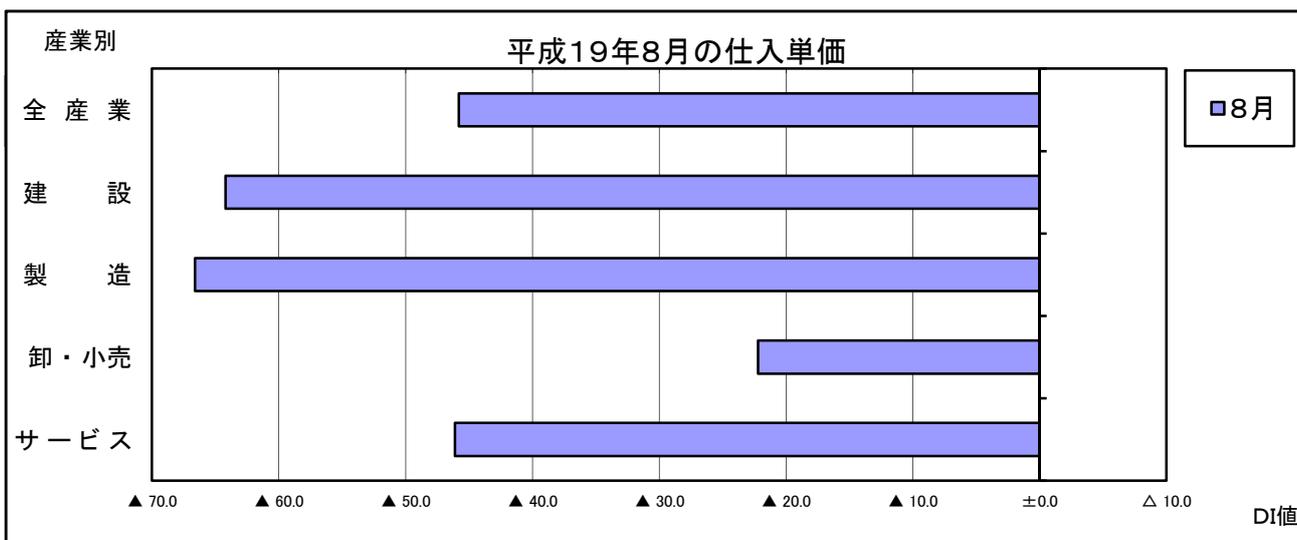
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲22.2(同▲34.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲46.1(同▲23.0)、製造業▲66.6(同▲50.0)、建設業▲64.2(同▲53.8)であり、特に、サービス業はマイナス幅が▲23.1ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲37.5(前月水準▲31.4)となり、マイナス幅が▲6.1ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲29.6(同▲34.6)である。変らない見通しの業種は、製造業▲38.8(同▲38.8)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲38.4(同▲7.6)、建設業▲50.0(同▲38.4)であり、特に、サービス業はマイナス幅が▲30.8ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成19年8月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲37.1	▲40.0	▲38.8	▲42.0	▲40.0	▲45.8	▲37.5(▲31.4)
建設	▲46.1	▲68.7	▲40.0	▲50.0	▲53.8	▲64.2	▲50.0(▲38.4)
製造	▲52.9	▲41.1	▲50.0	▲61.1	▲50.0	▲66.6	▲38.8(▲38.8)
卸・小売	▲34.4	▲33.3	▲42.8	▲32.0	▲34.6	▲22.2	▲29.6(▲34.6)
サービス	▲9.0	▲10.0	▲9.0	▲25.0	▲23.0	▲46.1	▲38.4(▲7.6)



【平成19年8月の従業員についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、 $\Delta 9.7$ (前月水準 $\Delta 15.7$)となり、プラス幅が $\blacktriangle 6.0$ ポイント縮小した。

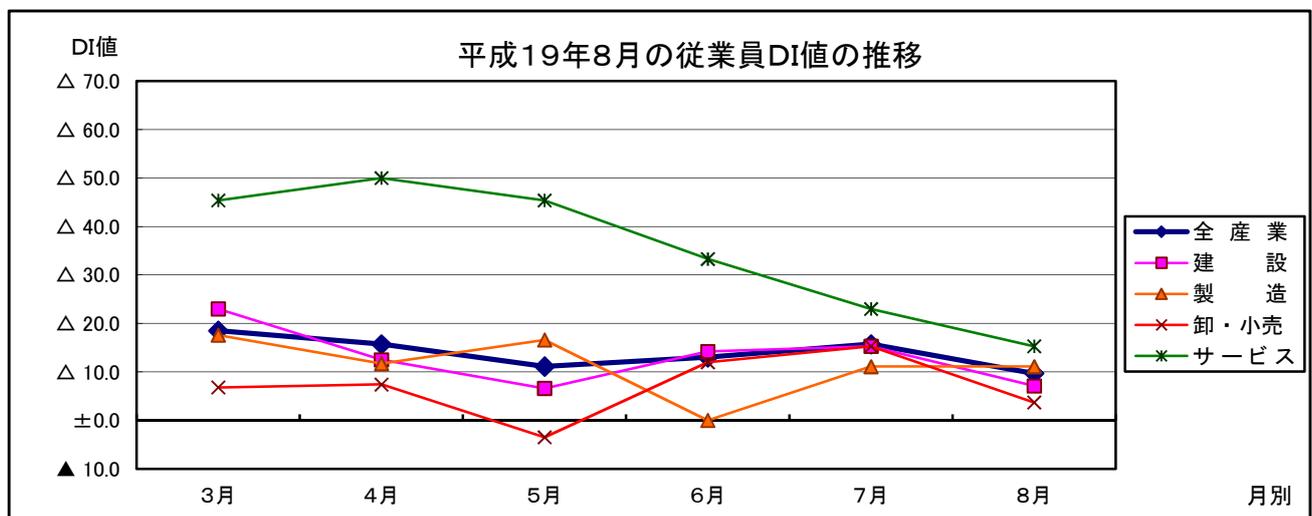
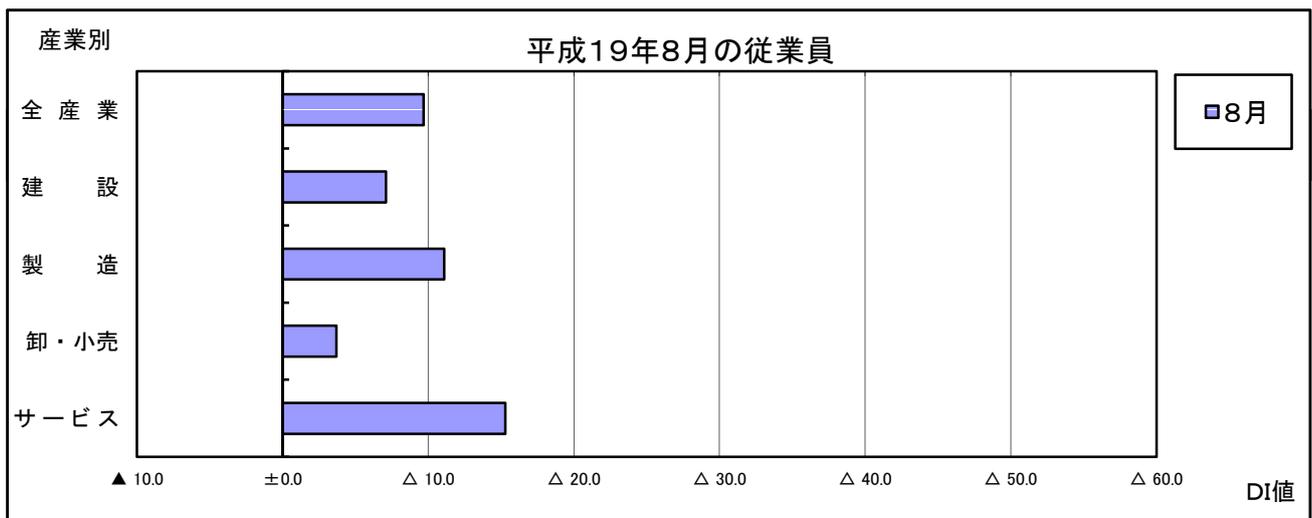
業種別では、前月水準と比べて、変らない業種は、製造業 $\Delta 11.1$ (同 $\Delta 11.1$)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業 $\Delta 3.7$ (同 $\Delta 15.3$)、建設業 $\Delta 7.1$ (同 $\Delta 15.3$)、サービス業 $\Delta 15.3$ (同 $\Delta 23.0$)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、 $\Delta 12.5$ (前月水準 $\Delta 15.7$)となり、プラス幅が $\blacktriangle 3.2$ ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業 $\Delta 11.1$ (同 $\Delta 7.6$)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業 $\Delta 15.3$ (同 $\Delta 30.7$)、建設業 $\Delta 7.1$ (同 $\Delta 15.3$)、製造業 $\Delta 11.1$ (同 $\Delta 16.6$)である。

平成19年8月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成19年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	$\Delta 18.5$	$\Delta 15.7$	$\Delta 11.1$	$\Delta 13.0$	$\Delta 15.7$	$\Delta 9.7$	$\Delta 12.5$ ($\Delta 15.7$)
建設	$\Delta 23.0$	$\Delta 12.5$	$\Delta 6.6$	$\Delta 14.2$	$\Delta 15.3$	$\Delta 7.1$	$\Delta 7.1$ ($\Delta 15.3$)
製造	$\Delta 17.6$	$\Delta 11.7$	$\Delta 16.6$	± 0.0	$\Delta 11.1$	$\Delta 11.1$	$\Delta 11.1$ ($\Delta 16.6$)
卸・小売	$\Delta 6.8$	$\Delta 7.4$	$\blacktriangle 3.5$	$\Delta 12.0$	$\Delta 15.3$	$\Delta 3.7$	$\Delta 11.1$ ($\Delta 7.6$)
サービス	$\Delta 45.4$	$\Delta 50.0$	$\Delta 45.4$	$\Delta 33.3$	$\Delta 23.0$	$\Delta 15.3$	$\Delta 15.3$ ($\Delta 30.7$)



【平成19年8月の資金繰りについての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲6.9(前月水準▲5.7)となり、マイナス幅が▲1.2ポイント拡大した。

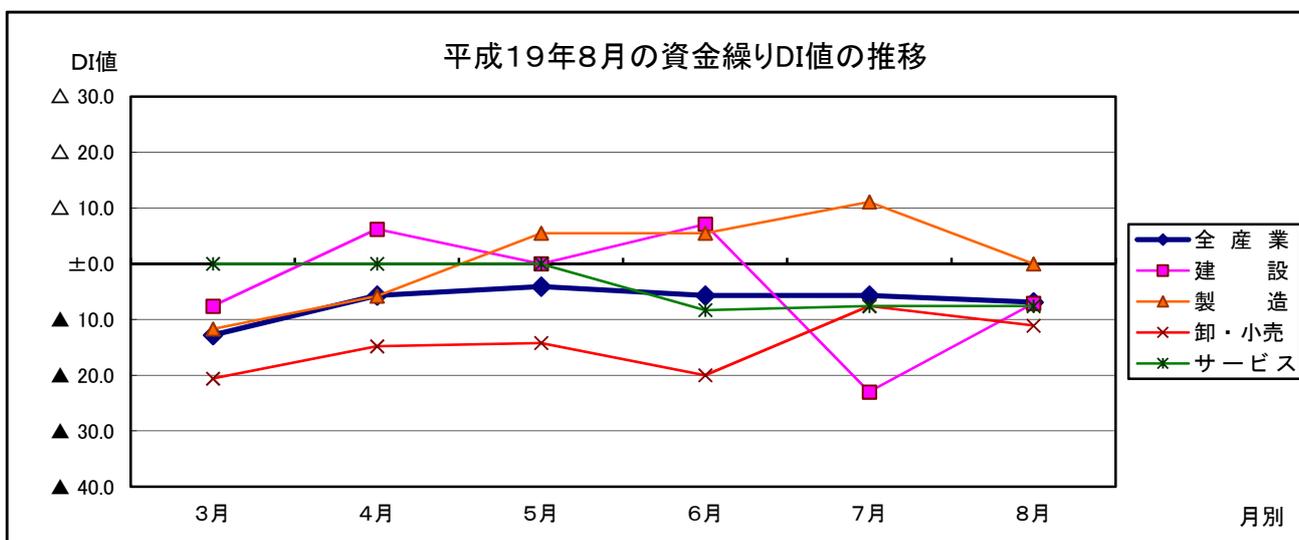
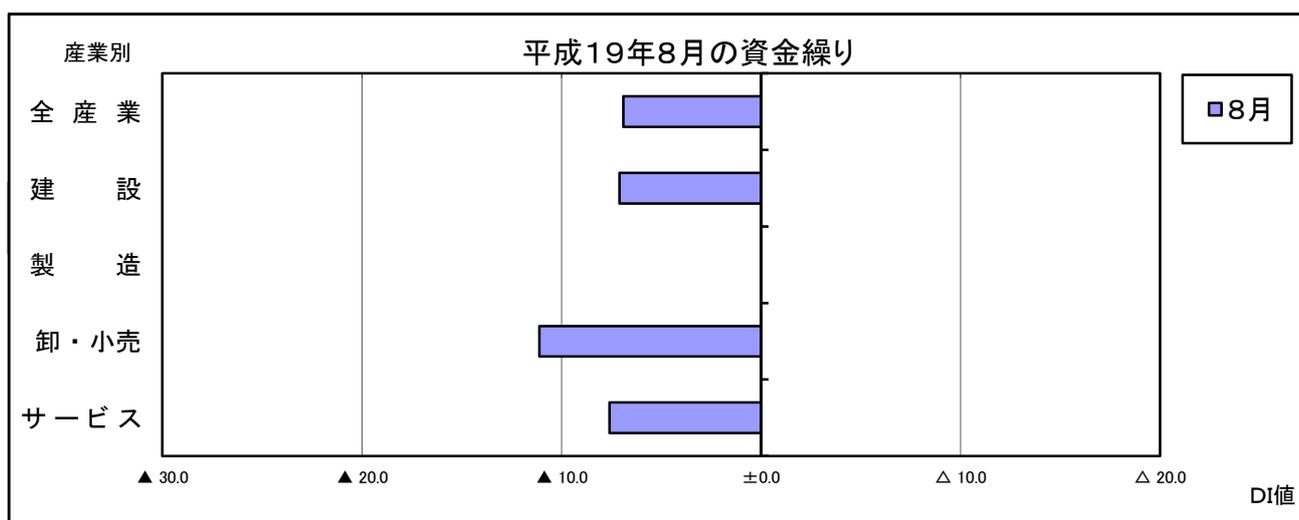
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲7.1(同▲23.0)である。変わらない業種は、サービス業▲7.6(同▲7.6)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0.0(同△11.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲11.1(同▲7.6)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲9.7(前月水準▲8.5)となり、マイナス幅が▲1.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲7.1(同▲15.3)、サービス業▲7.6(同▲15.3)、卸小売業▲14.8(同▲15.3)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、製造業▲5.5(同△11.1)である。

平成19年8月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成19年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲12.8	▲5.7	▲4.1	▲5.7	▲5.7	▲6.9	▲9.7(▲8.5)
建設	▲7.6	△6.2	±0.0	△7.1	▲23.0	▲7.1	▲7.1(▲15.3)
製造	▲11.7	▲5.8	△5.5	△5.5	△11.1	±0.0	▲5.5(△11.1)
卸・小売	▲20.6	▲14.8	▲14.2	▲20.0	▲7.6	▲11.1	▲14.8(▲15.3)
サービス	±0.0	±0.0	±0.0	▲8.3	▲7.6	▲7.6	▲7.6(▲15.3)



【平成19年8月の業種別業界内トピックス】

産業別	概況	キーワード	業種
建設	仕事の方は出てきている。しかし、民間・官公庁共に発注物件が出るものの、予算と積算とつり合う金額ではないため、受注は難しい。厳しい状況である。	・不採算物件 ・受注難 ・厳しい状況	一般土木建築工事業
	引き合い物件出るも、予算と積算とが調整つかない程合わない。	・不採算物件	一般土木建築工事業
	相変わらず厳しい状況が続いております。	・厳しい状況	一般土木建築工事業
	このところ燃料費(ガソリン・軽油)・鉄関係・紙類などの価格の上昇により、工事原価が上がり、利益を圧迫してきている。	・仕入コスト上昇 ・利益圧迫	土木工事業(舗装、しゅんせつを除く)
	夏休み中につき、学校の工事が集中しています。猛暑の中、施行スタッフの体調が心配です。	・夏休み ・学校工事集中	板金・金物工事業
製造	9月材料値上げの具体的交渉に入ってきた。	・仕入コスト上昇	紙製容器製造業
	原材料費及び燃料費の高騰が続き、製品価格への転嫁が急務。	・仕入コスト上昇 ・価格転嫁	ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業
	製品においては若干の変動はあるが、良好である	・業績好調	その他の鉄鋼業
	自社の業況好転により人手不足が顕著になってきた。募集するが応募が少なく、応募者があっても、当方の要求レベルの人が採れない状況である。	・業況好転 ・人手不足 ・仕入コスト上昇 ・価格転嫁	その他の機械・同部分品製造業
	SUS材料の価格高騰を受けて複数の加工協力会社により単価アップの要求を受けている。現在のところ、上げ幅は多少落ち着きを見せているものの、未だ止まるところを知らず高騰を続けている。加工協力会社には企業努力による材料費高騰分の吸収をお願いしているが、材質種類により吸収できる範囲を超えており、単価の調整を実施せざるを得ない状況である。		
半導体関係の設備投資減少傾向	・設備投資減少	電子部品・デバイス製造業	
卸小売	暑すぎです。買い物に出かけません。	・天候の影響	食料・飲料卸売業
	7月、守谷に新SC「ロックシティ」がオープンしました。これにより、TX寄り方面にあるSCに影響があると考えられます。8月3日、柏ステーションモールに「東急ハンズ」がオープンしました。これにより、ステーションモールの入店客数は2ケタ増となっており、柏駅周辺の界索性が増しているものと思います。	・守谷SC開店 ・東急ハンズ開店 ・入店客数増加 ・界索性	百貨店
	イトーヨーカ堂柏店は改装の予定があります。	・改装予定	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	柏周辺での大型店舗が出揃いました。我々地元企業として、価格競争に巻き込まれない独自の仕入先の開発、楽しい売場、地域一番の接客の提供が、いつものことですが、課題となっています。また、地域の活性化のために商工会議所も地産地消を推進する活動をしていただければと思います。	・大型店出店 ・差別化戦略	各種食料品小売業
	最近の記録的異常高温続きで、干ばつ被害が心配される中、野菜での品質低下や入荷減が予想されます。現状は、前年並みの動きです。果実も同様の環境の中、小玉傾向で品質は良いものの、入荷減、単価高が続いています。今後の高温干ばつは入荷に不安材料であります。卸の立場として、情報収集し、需要供給を保てる様、万全策を図ります。各地域の夏・秋の祭事による消費を期待して努力します。	・天候の影響 ・野菜前年並み ・果実入荷減・単価高	食料・飲料卸売業

【平成19年8月の業種別業界内トピックス】

	<p>近くのスーパーが酒の販売を始めたこともあって、夏に良く売れるビール等の売上が落ちている。業界で見ると、気温が高い日が続いていて、前年より伸びているが、当店では良くない。 従業員は不足の状態が続いている。 猛暑で客足が鈍い。秋に期待。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酒類取扱い ・ビール不調 ・天候の影響 ・人手不足 	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	<p>業績に影響するくらい従業員(人手)不足がある。募集しても集まらない。 柏・おたかの森TXで東京方面と消費者が分散傾向にあるようだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響 ・人手不足 ・消費者分散 	菓子・パン小売業 その他の飲食料品小売業
	<p>原油高騰のため</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原油高騰 	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	<p>毎月同じ書き出しだが、今後数ヶ月は現状価格か円高の影響で多少下がることが予想される。その後は、相変わらず中国・インド等の需要拡大でさらに値上げの可能性は大。今月酷暑でガス消費量大幅ダウン。ただ、ガス器具販売が多少増加した分、資金繰りは先月より良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響 ・ガス消費量ダウン ・ガス器具販売増加 ・資金繰り良化 	燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)
	<p>昨年末に開始した本のポイントサービスの効果や『柏ウォーカー』の発売などもあって、どうにか前年並みを維持。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントサービス ・柏ウォーカー ・売上横ばい 	書籍・文房具小売業
	<p>猛暑により、顧客の来街頻度が減少したためか、来店客数が減っている。電気製品の一部は売れているようであるが、秋物衣料品、アクセサリ等の売行きは良くない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響 ・来店客数減 ・秋物衣料等不調 	その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)
	<p>8月度は8/3(金)に7階8階の2フロアに東急ハンズがオープンし、売上・客数ともに前年を大きく上回る出足となった。以降3階正面入り口バリアフリー化に伴い、3階数店舗とハンズ出店に絡み6階大型雑貨店がリニューアル休業に入ったものの、売上高は前年を上回る推移となった。特に飲食店舗はハンズ導入で集客が高まったことから、殆どの店舗が2桁伸張となった。 また、今年は昨年より営業日数が1日増もプラス要因の1つである。月末に掛けても集客増が見込まれるため、接客を強化して売上に繋げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東急ハンズ開店 ・売上好調 ・客数好調 ・飲食店好調 	各種商品小売業
サービス	<p>理容業界では、アウト店との比較化を考え、クールビズカットや涼しい冷え冷えシャンプーなどで話題を集めて努力してきました。その効果は多少あったように思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・差別化戦略 	理容業
	<p>宴会・宿泊ともに売上不変。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・売上横ばい 	ホテル

【平成19年8月の多い景気キーワード】

◎仕入上昇

- ・ このところ燃料費(ガソリン・軽油)・鉄関係・紙類などの価格の上昇により、(建設業)
工事原価が上がリ、利益を圧迫してきている。
- ・ 9月材料値上げの具体的交渉に入ってきた。(製造業)
- ・ 原材料費及び燃料費の高騰が続き、製品価格への転嫁が急務。(製造業)
- ・ SUS材料の価格高騰を受けて複数の加工協力会社により単価アップの要求(製造業)
を受けている。現在のところ、上げ幅は多少落ち着きを見せているものの、
未だ止まるところを知らず高騰を続けている。加工協力会社には企業努力
による材料費高騰分の吸収をお願いしているが、材質種類により吸収できる
範囲を超えており、単価の調整を実施せざるを得ない状況である。
- ・ 毎月同じ書き出しだが、今後数ヶ月は現状価格か円高の影響で多少下がる(卸小売業)
ことが予想される。その後は、相変わらず中国・インド等の需要拡大でさらに
値上げの可能性は大。

◎天候の影響

- ・ 暑すぎです。買い物に出かけません。(卸小売業)
- ・ 最近の記録的異常高温続きで、干ばつ被害が心配される中、野菜での品質(卸小売業)
低下や入荷減が予想されます。現状は、前年並みの動きです。果実も同様
の環境の中、小玉傾向で品質は良いものの、入荷減、単価高が続いていま
す。今後の高温干ばつは入荷に不安材料であります。卸の立場として、情報
収集し、需要供給を保てる様、万全策を図ります。各地域の夏・秋の祭事に
- ・ 猛暑で客足が鈍い。秋に期待。(卸小売業)
- ・ 今月酷暑でガス消費量大幅ダウン。ただ、ガス器具販売が多少増加した分、(卸小売業)
資金繰りは先月より良い。
- ・ 猛暑により、顧客の来街頻度が減少したためか、来店客数が減っている。電(卸小売業)
気製品の一部は売れているようであるが、秋物衣料品、アクセサリ等の売
行きは良くない。

平成19年8月のCCI-LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲31.9に対し、「CCI-LOBO」が▲32.0で、マイナス幅が0.1ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業で、10ポイント以上良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業、サービス業で10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲18.0に対し、「CCI-LOBO」が▲25.1で、マイナス幅が7.1ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・卸小売業で、10ポイント以上良い業種は、卸小売業。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・卸小売業で、10ポイント以上悪い業種は、卸小売業。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲31.9に対し、「CCI-LOBO」が▲30.3で、マイナス幅が1.6ポイント大きい。「柏の景気」の方が全ての業種で悪くなっている。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲45.8に対し、「CCI-LOBO」が▲33.0で、マイナス幅が12.8ポイント大きい。「柏の景気」の方が全ての業種で悪くなっており、10ポイント以上悪い業種は、建設業・製造業・サービス業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△9.7に対し、「CCI-LOBO」が▲1.3で、プラス幅が11.0ポイント大きい。「柏の景気」の方が10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲6.9に対し、「CCI-LOBO」が▲19.5で、マイナス幅が12.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が全ての業種で良くなっており、10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業。

平成19年8月の木の景気天気図

木の景気情報と全国CCI LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI 50	好調 50>DI 25	まあまあ 25>DI 0	不振 0>DI 25	極めて不振 25>DI

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 31.9	 35.7	 5.5	 44.4	 38.4
CCI LOBO	 32.0	 44.3	 23.5	 31.1	 27.9

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 18.0	 28.5	 22.2	 7.4	 23.0
CCI LOBO	 25.1	 37.9	 12.1	 27.7	 20.6

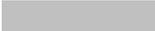
採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 31.9	 42.8	 33.3	 29.6	 30.7
CCI LOBO	 30.3	 40.2	 28.5	 27.3	 25.8

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 45.8	 64.2	 66.6	 22.2	 46.1
CCI LOBO	 33.0	 43.1	 50.0	 18.1	 26.4

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 9.7	 7.1	 11.1	 3.7	 15.3
CCI LOBO	 1.3	 16.7	 0.5	 4.2	 2.9

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
木の景気	 6.9	 7.1	 ±0.0	 11.1	 7.6
CCI LOBO	 19.5	 34.6	 16.0	 18.0	 12.6

 は「木の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「木の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(8月速報)

調査期間：平成19年8月20日～24日

調査対象：全国の407商工会議所が2578業種組合等にヒアリング調査を実施。

全国の業況

業況DIは三カ月ぶりに改善するも、仕入単価DIは六カ月連続で悪化

八月の景況をみると、全産業合計の業況DI(前年同月比)は、(以下同じ)は、前月水準(三・一八)よりマイナス幅が〇・八ポイント縮小して、三・〇〇となり、三カ月ぶりにマイナス幅が縮小した。

産業別の業況DIは、建設卸売でマイナス幅が拡大したものの、他の三業種で縮小した。

【建設業】からは、「受注は順調に確保している」「電気工事」との声がある一方、「公共工事」の減少、受注競争の激化、採算の悪化が続く、会社の存続が危ぶまれる」「一般工事」「住宅着工件数が減少しており、業況は低迷している」「(管工事)」「公共工事、民間工事」にも減少しており、業況が悪化している」「(建築工事)」との声も寄せられている。

【製造業】からは、「業況は総じて順調に推移している。安定操業が続いており、フル稼働の状態」「(一般産業用機械製造)」との声がある一方、「業界全体で仕事が減っている」「(建具製造)」「受注先からのコストダウン要請と原材料価格の上昇により、収益が圧迫され、厳しい状態が続いている」「(自動車・付属品製造)」との声も寄せられている。

【卸売業】からは、「猛暑の影響により季節商品の売上が伸びている。先行きにも期待が持てる」「(食料・飲料卸売)」との声がある一方、「原油価格の高騰により仕入コストおよび燃料コストが上昇し、収益が悪化した」「(衣服・日用品卸売)」「荷動きが悪い」「(農産物卸売)」「物卸売」との声も寄せられている。

【小売業】からは、「景気回復感がある」「(商店街)」との声がある一方、「明るい兆しがまったくない」「(商店街)」「消費者の購買意欲の減退が懸念される」「(百貨店)」「猛暑の影響が、来店客数が減少し、全般的に苦戦している。秋物商品の動きに期待したい」「(百貨店)」「売上は伸びたものの、決して景気が良くなったとは感じない」「(百貨店)」との声も寄せられている。

【サービス業】からは、「売上は堅調である」「(ソフトウエア)」との声がある一方、「売上は例年と比べて悪化している。業況もあまり良くない」「(酒場・ビアホール)」「売上は横ばいだが仕入価格の上昇により採算が悪化している」「(食堂・レストラン)」「業界では未だに不況感を持っており、ますます危機感を強めている」「(旅館)」との声も寄せられている。

悪化への懸念
各業種から業況の悪化と先行きへの懸念を訴える声が続けられている。建設、製造からは、「公共工事の発注件数が少ない。また、民間工事の動きも鈍くなっている。売上、収益とも改善せず、業況に明るさは見られない」「(米子・一般工事)」「荷動きは相変わらず悪く、資金繰りが厳しい状況が続いている。秋の需需を期待しているが、先行きは不透明である」「(水保製材木製品製造)」「相変わらず厳しい状況が続いている。催事を行っても売上につながらない」「(米沢・織物製造)」との声も寄せられている。また、卸売、小売、サービスからも、「来店客数が減少した」「(土別各種商品卸売)」「来街者が減少し、厳しい状況が続いている。先行きはまったく見えない」「(八女・商店街)」「景気回復感はない」「(岩国・理容)」といったコメントも寄せられている。

八月のキーワード

仕入コスト上昇
また、各業種から、依然として原材料価格の高騰による仕入コストの上昇を訴える声も寄せられている。建設、製造が

らは、「売上は前年並みだが、原油価格の高騰により仕入単価やガソリン価格が上昇し、業況は厳しい」「(因島・一般工事)」「原油や鋼材の価格が上昇し、仕入コストが増加している。採算面で厳しい状況が続いている」「(赤穂・金属加工機械製造)」との声も寄せられている。また、卸売、小売、サービスからも、「原材料価格が高騰しているため、メーカーからの値上げ要請が続いている。しかし、販売価格への転嫁が困難なため、収益が悪化している」「(瀬戸・家具・建具等卸売)」「油製品や小麦粉の仕入単価が上昇し、採算が悪化している」「(銚子・その他の小売)」「軽油価格の高騰により収益が圧迫されている。運賃への転嫁が困難なため、業況は厳しい」「(富士・運送)」といったコメントも寄せられている。

猛暑の影響
猛暑の好影響を挙げる声が聞かれる一方、猛暑の悪影響を訴える声も寄せられている。小売、サービスからは、「猛暑の影響で、水着、浴衣など夏物商品が好調」「(千葉・百貨店)」「猛暑の影響で飲料水の輸送が増加した」「(石岡・その他サービス)」「猛暑続きでビアガーデンが好調」「(京都・旅館)」との声も寄せられている。他方、「口中の気温が高すぎて、商店街の入り込みが一層少なくなっている。暑すぎて購買意欲が減退しているようだ」「(館山・商店街)」「猛暑の影響が、商店街を訪れる人の数が少なく、夏物衣料品の動きが低調である」「(豊橋・商店街)」「連日の暑さで客足が遠のいた」「(伊万里・商店街)」「夏物商品の処分期を終え、秋物商品の展開時期を迎えたが、連日の猛暑により売上が低迷している」「(宇都宮・百貨店)」といったコメントも寄せられている。

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	26.0	42.8	14.5	37.7	25.4	23.7
4月	25.3	36.8	20.6	38.2	19.8	23.9
5月	25.1	40.9	21.3	27.8	22.2	20.9
6月	29.5	46.0	23.4	39.4	26.5	24.5
7月	32.8	43.5	26.3	42.6	31.4	30.8
8月	32.0	44.3	23.5	48.4	31.1	27.9
見通し	27.4	44.3	22.8	24.4	25.7	24.7

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI